

(2)-② テーマ：「消費生活－グリーン購入－」 ステップ2「はじめの一歩」

環境にやさしい商品のマーク「環境ラベル」を探そう！ 季節：いつでも

(学習のねらい)

- ①環境ラベルを身近な物から探し、種類や意味などを理解します。
- ②どんな再生品があるか、どんなものに生まれ変わることにより、リサイクルに対する意識と実践意欲を高めます。

場所：家庭、地域のお店、教室
時間：6時間
対象：小学校中学年～

●用意するもの

ワークシート、バインダー、筆記用具、
カメラ（できればポラロイドカメラやデジカメ）

学習のすすめ方

(1) 自宅でチェック

- ① おうちの中や自分の持っている文房具から環境ラベルを探して、ワークシート1に記入します。

(2) お店でチェック

- ①あらかじめ「調査及び撮影の了解」を得ておきましょう。
- ②参加者のグループ分けを行います。（できれば各グループ毎に指導者をつけます）
- ③環境ラベルをグループで探します。
- ④参考「お店の環境配慮度チェック」もしてみましょう。

(1) (2) 共通

現物を持ってこられる場合（家庭用品など）は、ラベルがついたものを持ってきます。持ってこられない場合は、書き写すか写真を撮ります。

(3) 結果をみんなで話し合い

- ①グループ毎に、調査した環境ラベルの意味などについて調べます。
- ②全体で発表するとともに、自分たちができる「環境にやさしい買い物＝グリーン購入」について考え、意見交換を行います。



【ステップ3「つきの一歩」】

- ・お店の人に消費者のニーズ、お店の方針などを、ロゴマークの付いている商品を買っている人に、なぜこの商品を選んだかなどをインタビューして、環境配慮の商品が普及していない原因を考えたり、普及していくための社会システムのあり方について話し合ったりしましょう。

[実施上の工夫・留意点]

○店の営業やお客様の邪魔にならないように調査しましょう。

また、商品を傷つけたり、汚したりしないよう注意しましょう。

(調べるポイント)

- a. どんな商品があるか
- b. どんな原材料でできているか
- c. 同じ種類の商品でラベルがついていないものがあるか
ある場合、価格に差があるか
- d. どこで作られているか
- e. なぜ売れる（売れない）のか



<一口メモ①> グリーン購入

製品やサービスを購入する際、必要性を十分に考慮し、価格や品質、利便性、デザインだけでなく環境のことを考え、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先して購入することです。

グリーン購入のポイント

- ①必要性を十分考えて買う。不要なものは買わない。
- ②商品の一生涯（原料となる資源の採取→生産→流通→消費→廃棄）を通じて、環境負荷の小さい製品やサービスを選ぶ。
- ③環境にやさしい商品の販売に熱心な店、量り売り・バラ売りがある店などから優先して買う。

また、買い物袋を持参する、過大過剰包装を断るなど、買い物の仕方でも環境を配慮した方法を選択したいものです。

<一口メモ②> グリーンコンシューマー

グリーンコンシューマーとは、「グリーンニ緑・環境を大切にするというシンボルカラー」と「コンシューマー=消費者」を合わせた造語で、1988年にイギリスで発刊された「ザ・グリーンコンシューマー・ガイド」によって提案された名称とその活動のことです。

「環境への負荷を考えて商品と事業者を選ぶ消費者」=グリーンコンシューマー（緑の消費者）になろうという呼び掛けが1988年イギリスから起り、世界中に広がりました。

■ 世界の先進事例 ■

①ドイツ

1978年、世界で最も早く国レベルの環境保護マークとして、エコラベル制度（ブルーエンジエルマーク）が導入され、既に国民の間に定着しています。

また、公的機関が商品を購入する際の基準に「エコラベル」がついていることを条件に規定する「グリーン調達」を実施していることから、エコラベル制度を一層普及させることとなり、国民の関心が高まったようです。

②カナダ

1990年より「環境のための選択プログラム」を通じて、「消費者に対してどの商品が環境により健全であるかの情報を提供する環境保護マーク（エコロゴマーク）制度を実施しています。

③アメリカ

1980年頃、環境保護マークの取り組みが民間団体から始まっています。

国レベルでのマーク制度はありませんが、元来、アメリカでは民間の運動団体の力が大きく、製品の安全性などの面で大きく成果を上げています。

また、1989年に民間団体から発売された「Shopping for a better world（よりよい世界のためのショッピング）」というガイドブックがベストセラーになりました。この中には、企業とその商品がリストアップされており、環境や家庭にとってどのような利益があるかなどの項目が取り上げられています。このガイドブックを参考に、多くの消費者が環境を優先した買い物を行っています。

④北欧諸国

デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデンの北欧5カ国でも、環境問題に対する姿勢が積極的であり、現在、民間団体によるいろいろな環境ラベルが使用されています。また、最近では、国レベルでの共通エコラベルの検討も進められています。

⑤イギリス

1988年に「The Green Consumer Guide」が民間団体から出版されています。これは、発売されている商品やサービスについて企業の環境への貢献度を評価し、環境にやさしい商品の推薦と環境にやさしい商品の使い方の解説を行い、環境にやさしい生活スタイルを提唱しています。

環境にやさしい買物運動

兵庫県では、兵庫県連合婦人会・兵庫県消費者団体連絡協議会・神戸市消費者協会を中心に、環境保全団体・事業者・学識者等が連携して、平成3年度より「環境にやさしい買物運動」を展開しています。「環境を配慮した買い物＝グリーン購入」を県内に広めるため、環境にやさしい商品や環境ラベル・グリーン購入のポイントの紹介、環境配慮のお店調査などを行っています。

運動のシンボルマーク「みらいちゃん」



環境ラベル（参考）

名 前	認定・運営機関	マークの意味	マーク
エコマーク	(財)日本環境協会 エコマーク事務局	環境を汚さない、環境を改善できる“環境保全商品”と認められた商品に表示。 再生紙利用の一般事務用品・OA用品の場合、再生パルプの使用率50%以上のものに認定されます。	
みらいちゃんマーク	兵庫県環境にやさしい買い物運動推進委員会	兵庫県内で行われている「環境にやさしい買い物運動」のシンボルマークです。	
ツリーフリーマーク	日本リサイクル運動市民の会	原材料調達から製造、消費、再利用に至るまで管理された本物の非木材紙であることを証明します。このマークのついた紙の価格の1%をツリーフリー基金として積み立て、緑化活動に役立てています。	
グリーンマーク	(財)古紙促進再生センター グリーンマーク実行委員会事務局	古紙を再利用した製品に表示。学校や自治体、町内会などに苗木を送り、学校および地域の緑を増やすことによって、自然環境の保護、森林資源の愛護などの意識向上に役立てることを目指しています。	
牛乳パック再利用マーク	全国牛乳パックの再利用を考える全国連絡会	回収した牛乳パックを原料とした商品であることを示すマーク。 全国パック連によって認定された商品、および協力店であることを示します。	
再生紙使用マーク	ごみ減量化のために設立されたNGO「ごみ減量化推進国民会議」	古紙配合率が容易にわかる表示のことです。 R100は古紙配合率100%を意味しています。	
非木材紙マーク	非木材紙普及協会	ケナフ等、非木材を使用した紙・紙製品に表示されています。	

名 前	認定・運営機関	マークの意味	マーク
PETボトルリサイクル推奨マーク	P E T ボトルリサイクル推進協議会	P E T ボトルをリサイクルしてできた繊維・シート・ボトル・成型品についています。	 PETボトル 再利用品
国際エネルギースター ロゴ	国（経済産業省）	OA機器を対象に、日米政府が承認する省エネルギー任意登録制度の基準をクリアした製品に表示されます。	
省エネラベリング制度	国（経済産業省）	主に家電機器を対象に、省エネルギー法に基づき、定められた省エネ基準の達成度を示す制度で、達成率が100%未満の製品にはオレンジ色のマーク、100%以上達成している省エネ効果が優れた製品には緑色のマークが表示されます。	
エコリーフ環境ラベル	(社)産業環境管理協会	商品のライフサイクル毎の温暖化負荷量(CO ₂ 換算)、エネルギー使用量などがない商品が認定され、数値がホームページ等で公開されます。 URL http://www.jemai.or.jp (ラベルにも明記)	
リサイクルマーク (識別表示マーク)	国（経済産業省）	「資源の有効な利用の促進に関する法律」により、消費者の分別排出を促進することを目的に、それぞれの容器包装に表示が義務づけられたマークです。	
			
		  	
ひょうご安心ブランド	兵庫県	安全・安心な農産物として県が定めた基準を満たすと認定された生産集団が生産する農産物に付けられるマーク	
ひょうごブランド商品	兵庫県	県内で生産された原材料を使用したり、飼育・製造方法等に特色のある食品について、品目ごとに定めた認証基準を満たす商品に付けられるマーク	

※ほかに、お店がオリジナル商品に自主的につけている環境ラベルもあります。
調査するお店に、独自の環境ラベルがあるかどうかきいてみましょう。

(参考)

かんきょうはいりょど
お店の環境配慮度チェックリスト

◎調査したお店の環境配慮度をチェックしてましょう！ (○ある ×ない)

お店の名前 _____

場所（住所）_____

項目		チェックらん
環境にやさしい商品を販売	トイレットペーパー	
	ティッシュペーパー	
	せんさい 洗たく用洗剤	
	せんさい 台所用洗剤	
	てふくろ 家庭用ゴム手袋	
	文房具	
	ゆうせん ちさんちしょう 地元でとれたものを優先販売（＝地産地消）	
容器包装類の削減	食品用トレーを使用しない (生鮮食料品に使っているトレーは持ち帰ってからごみになります)	
	ばかり売り・ばら売りをしている (食べ物は、必要量だけ買って使い切れば、むだに捨てずにすみます)	
	再使用容器(リターナブル容器)入り商品を販売している (洗って再使用できるので、使い捨て容器に比べ、ごみを減らすことができます)	
	つめかえ用商品を販売している (中身だけを買ってつめかえて使えば、容器ごみを減らすことができます)	
	牛乳紙パック	
資源ごみの実施舗	アルミ缶・スチール缶	
	食品用トレー	
	ペットボトル	
	いんりょうじ どう はんぱいき せっち 飲料自動販売機を設置していない (1台の自動販売機が消費する電気は平均家庭の約8割。使い捨て容器もごみのもとです。)	
レジ袋削減対策	ぶくろさくげん レジ袋削減対策 (レジ袋を減らせば大きなごみ削減に。有料化、スタンプ方式などで減らしているお店もあります。)	
	レシートに再生紙を使用	

※○が多いほど環境にやさしいお店と言えるでしょう。

【ワークシート1】

実施日 年 月 日	グループ名	(氏名)
-----------	-------	-------

環境ラベルがどんなものについていたかメモをして、マークの意味を調べましょう。
(おうちで)

見つけたマーク	どんなものについていたか	マークの意味・ついているわけ
例 	ボールペン 定規	軸が、食品トレーをリサイクルした素材でできています。 ペットボトルをリサイクルしています。

(お店で)

見つけたマーク	どんなものについていたか	マークの意味・ついているわけ
例 	台所用スポンジ	植物のセルロースで作られており、捨てても土にかえる素材でできている。

【ワーキシート2】

実施日 年 月 日	グループ名 (氏名)
-----------	----------------

1 探して見つけたラベルが、どのような目的や願いでつけられたのか、どんなふうに環境を守ることに役立つかを考えたり、調べたりしましょう。

【調べ方】

- ・本やインターネットで調べる。 ・販売元や製造元に電話して聞く。
- ・お店の人にインタビューする。 ・家族に聞く。
- ・リサイクル関係団体に連絡する。 ・市町の環境担当課（第4章連絡先一覧参照）
 に電話して聞く。など

マーク(名前)	マークの目的・願い	私たちができること	どのように環境に役立つか
例	 古紙を再生してできた製品を使ってほしい。	グリーンマークがついた商品を選んで使う。	新しく木を切る量を減らすことができる。 緑を守ることができる。

2 お店の人、買い物のお客などに聞いたことを書いておきましょう。

3 グリーン購入をしていくために私たちにできることを書きましょう。

(資源を大切にするために)

(エネルギーを大切にするために)

(環境を汚さないために)

(いつも環境に思いやりを)

(社会全体で取り組めること)